

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	A		A		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成
法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか、また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	児童福祉法や条例に則り、18歳未満の児童を対象に、設置目的である児童の健全な育成を図りました。 各事業に関して、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き参加人数の制限を行うと共に事前申込制とし、密を避けながら実施しました。 また、行事においても人数制限と事前申込制とし、密を避けることで、水遊びやハロウィン、クリスマス会などの複数の季節のイベントを行うことができました。	A	利用者の安心安全な利用に繋がるよう人数制限等の新型コロナウイルス感染症対策が行われ、未就学児や小学生を対象とした様々な事業を実施するなど、目的に沿った成果が得られている。	意見なし。
利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	初回利用者には、川西市在住であることを確認し、登録手続きとして、住所、氏名、生年月日、連絡先電話番号を記入していただき、緊急時や忘れ物等で連絡等を行っています。 また、利用時には新型コロナウイルス感染症対策として、来館時に氏名連絡先等の聞き取りと検温、体調、マスク着用の確認を継続して行いました。	A	利用に係る登録方法や利用に関し、適切かつ丁寧に対応されている。また、感染症対策も継続実施しており、安心安全な利用に繋がっている。	意見なし。
施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	A	市の広報誌や施設のホームページへの掲載、LINE配信(計22回)で情報発信を行いました。 LINEは登録者数が240人を超え、配信を通じて事業の参加申込者が増える等の効果がみられました。	A	紙媒体、電子媒体を問わず広く情報発信を継続されている。	意見なし。
< 課 題 >		コロナ禍で制限がある中で、安心して親子が過ごせる場所および、子育て中の親子が孤立することなく他者と関わりが持てる場所の確保が必要です。 LINEが令和5年6月から有料化されることになり、予算措置もしていないためその後の対応を検討する必要があります。		コロナ禍以降、老人福祉センターとの交流が減少している。世代間交流は久代児童センターの担う役割の一つでもあるので併設の強みを活かして交流できる機会を増やす検討をしてください。 老人福祉センター以外にも地域住民や団体などと交流できる機会の検討をお願いします。 どの広報活動でどの程度の効果があったか分析できるような来場者アンケートなどを実施して、より効果的な広報活動を模索することが望まれる。	意見なし。
< 改善内容 >		コロナ感染対策を取りながら各種事業を行いました。またコロナ禍でも季節のイベントが再開できるよう、人数制限等に配慮しながら実施しました。 LINEの有料化については、令和5年6月以降どうするか検討が必要です。		計画どおり事業実施出来るよう工夫して取組んでいる。広報媒体として使用されている「LINE」の有料サービスについて、発信側の都合ではなく、利用者がどれだけ有効に感じているかを調査分析のうえ、需要が高ければ継続使用、需要が少ないのであれば代替方法の検討をしてください。	意見なし。
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	コロナ禍ではありましたが、感染予防対策を講じ、人数制限や事前申込制にすることで、年度当初に計画した全ての自主事業を実施することができました。 季節のイベント等が再開できたことで、保護者から多くの喜びの声を聞くこともできました。 また、季節のイベントでは、老人福祉センターとの併設の特徴を活かし、高齢者にも参加していただき世代間交流を図りました。	A	コロナ禍でも工夫された計画どおり事業を実施されており、有効に利用されている。	意見なし。
施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	コロナ禍のため、自主事業をクール制(5~6回/1クール)としたことで、利用者が安定して参加することができました。 また、土曜日の利用者が増えると共に土曜日開催の事業への参加者も増えています。 更に、川西児童館との共催事業(川西児童館では当センターが普段行っている事業を実施し、当センターでは川西児童館職員が事業を行う交換事業のような形)を2度行いました。 その結果、川西児童館の利用者が当センターも利用されるようになる等、利用者が久代・加茂地域の方のみならず市中部や北部の方へと徐々に広がりを見せるようになっています。	A	川西児童館との共催事業を通して利用者層拡大(近隣以外からの利用者の増加)がなされており、創意工夫が図れている。	意見なし。
< 課 題 >		放課後や長期休みの期間の児童の利用において、子ども同士の距離の取り方や関わりにおいて見守りが必要です。		利用者が事業に参加しやすいように、適切な対応をとるとともに、必要に応じてルールの見直しを行い、より安心安全に過ごせる環境構築を継続してください。 川西児童館との共催事業以外でも新規利用者の獲得に向けた取組をお願いします。	意見なし。
< 改善内容 >		コロナ禍での安定した事業実施に向けて、クール制や事前申込制にして人数調整を図る等の対応を取りました。 川西児童館との共催事業を2度実施し、互いの施設のPRにつながったと共に、利用される方が広域になってきています。 コロナ感染症対策が緩やかに変化していく中で、季節のイベントにおいて、併設の老人福祉センター利用者との世代間交流が図れました。 また、放課後や長期休みの期間の利用では、混雑具合などを見ながらトラブルに発展しないよう見守りを強化しています。		混雑状況に応じ見守りを強化するなど臨機応変に対応されている。	意見なし。

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改
	善	善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度	
利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	利用されている保護者や児童を対象に3月17日から24日までアンケートを実施しました。保護者(49人)、児童(133人)の回答がありました。また、新たに各事業のクール最終日や季節のイベント毎にアンケートを実施しました。	A	保護者と児童の両方の利用者アンケートを実施しており、ニーズ把握に努められている。	意見なし。	
利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	ニーズに伴い事業の開始時間の変更や定期的な交流、身体を動かす遊び、工作教室、料理教室を実施することができました。	A	アンケート結果を受け、ニーズに応じた事業実施がされている。	アンケートであがった意見を事業に引き続き取り入れることを期待します。	
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	B	児童同士で「ビーチボールをわざとぶつけられた」というトラブルがあり、その件について、市へ片方の保護者から職員への対応等について苦情が入りました。職員はその時の状況を目視していなかったが仲裁等の対応はしていました。市が窓口とされたため、直接、センター職員と保護者間で話ができず上手く伝わらない部分もありました。	C	事案の職員対応に問題がなかったか振り返り、原因分析と再発防止策の検討、必要に応じた対応マニュアルなどを使った職員の教育を実施してください。苦情・事故等の際は連絡体制に基づいて速やかに報告・情報共有を行ってください。	関係各所との連絡・相談を密に図って対応してください、合わせて注意喚起も行ってください。	
アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	コロナ禍で、子どもだけでなく保護者同士の交流する機会が減り子育てに不安を抱えていることから事業内容に保護者同士情報交換ができる時間を設け、気軽に話せる体制を設けました。	A	アンケート以外でも普段の様子からニーズをくみ取り、ニーズに応じた事業展開をされている。	意見なし。	
サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	保護者のニーズに合わせた事業内容(制作や運動遊び等)を導入し事業を行いました。その結果、満足された返事を保護者から頂くことができました。	A	ニーズに沿った事業展開ができています。一時的なものだけでなく、実施した結果、定期的な事業として有効が検討するなど、恒常的にサービス向上させることも含めて取組みを継続させてください。	意見なし。	
< 課題 >		コロナ禍での環境の中、保護者が孤育てにならないよう職員が積極的に声掛けをし、安心して子育てができるよう対応する必要があります。引き続き、事業内容に保護者同士の情報交換の場を設け育児の共有ができる体制を設けます。児童の利用にあたって、現在の職員数では完璧な見守りは困難なため、継続的に混雑時等の見守り回数を増やす必要があります。		アンケートの結果を経年比較するなどして、ニーズの傾向を分析をしてください。	意見なし。	
< 改善内容 >		各事業の体制を1クール5～6回(年3回)定員数も固定することで、保護者同士顔なじみになり子どもの成長と一緒に見守ることが出来ました。放課後や長期休みの期間の利用では、混雑具合などを見ながらトラブルに発展しないよう見守りを強化しています。		保護者と子どもの両方にアンケートを実施してニーズの把握に努められている。引き続き子どもにもアンケートを実施し、こどもの権利を尊重して結果を事業計画に活かしてください。	意見なし。	
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A		2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減	
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費については、職員各自で意識して節減に取り組んでいます。利用していない部屋は照明を消し、冷暖房を入れないよう節電に努めています。	A	日常的な節減は継続されている。	意見なし。	
管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	職員は、常に節減を意識して修理や物品購入時は、相見積もりにより安価な業者に依頼しています。	A	業者への発注や委託について、節減だけでなく適切に行われているかの点検もお願いします。	意見なし。	
< 課題 >		建物は38年が経過し、老朽化がより進行しています。そのため、今後は修繕箇所の増加が見込まれます。安全面など必要に応じて市と協議しながら改修に取り組めます。		老朽化が原因で利用者が安心して過ごせないことがないように、修繕は優先順位や緊急性を考慮ください。広報誌の電子化など費用対効果を意識した経費の節減を検討してください。	意見なし。	
< 改善内容 >		壁紙や防護壁の剥がれ、床ビニールシートの剥がれ等の部分的で簡易なものは職員で修理しました。感染防止対策のための消毒液とペーパータオルの使用量を毎月記録し、年間の消費量の把握を行っています。		職員による簡易な修繕については、経費削減の手段として評価します。費用対効果を意識したさらなる節減に取組みをお願いします。	意見なし。	

A	優	良
B	良	好
C	課	含
D	要	改

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
(2-2) 収入の増加	評価なし		評価なし		(2-2) 収入の増加
収入を増加させるための具体的な方法の検討や取り組みを行ったか。					
収入の増加など取り組みの効果が得られたか。					
< 課題 >					
< 改善内容 >					
(2-3) 収支のバランスなど	評価なし		評価なし		(2-3) 収支のバランスなど
収支のバランスは、適切であったか。					
費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。					
収支の内容に不適切な点はなかったか。					
< 課題 >					
< 改善内容 >					
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況
法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	児童センターは3名の職員配置で、所長、事務員は老人福祉センターとの兼務でした。事故防止や安全面、事務事業の円滑な運営のため、併設の老人福祉センターとの連携協力を図っています。	A	新型コロナウイルス感染症対策は老人福祉センターと同一の取組を行っており、一体的に管理運用がされている。	意見なし。
法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	A	非常時に備え、「救命士講習」「防火管理者講習」を受講しました。また、職員全員が「虐待研修」を受けました。更に、川西市社会福祉協議会職員研修を5回、全職員が受け、研鑽を図っています。	A	業務に必要な研修を受講し、日々の業務に役立てられている。	意見なし。
経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	修繕や物品購入については、合い見積もりを取り、安価な業者を選びました。また、年に1度の利用者アンケートに加え、各事業のクール最終日や季節のイベント毎にアンケートを実施することで、利用者の意見を把握し、サービスの質の向上に努めました。新型コロナウイルス感染症対策として、換気と消毒および空調管理を行いました。	A	経費の節減、利用者アンケートによるサービスの質向上、感染症対策等を実施しており、適切に管理運営されている。	意見なし。
施設の良い管理運営を進めるため、新たな取り組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	A	新型コロナウイルス感染症対策のため、新たに「おもちゃの殺菌庫」の導入を市に依頼し設置されました。引き続き、各部屋の換気やおもちゃ、手すり、机などの消毒を使用後にはその都度、職員が行い、利用者が安心して利用できる体制を整えました。	A	安全安心に利用できるよう環境整備をされている。	意見なし。
< 課題 >		施設内での事故およびトラブル防止のため、児童センター及び老人福祉センター職員が連携して、施設内巡回の頻度を上げて見守りを強化していますが、年間数件のトラブルが発生します。		過去のトラブルを元に再発防止策の検討、必要に応じてルールの見直しと職員の研修を実施してください。	意見なし。
< 改善内容 >		児童センターとしての機能や役割を果たし、施設内での事故やトラブル防止のため、市とも協議しながら、児童センター職員と老人福祉センター職員が協力し業務を遂行しています。		トラブルの未然防止に努めるとともに、引き続きトラブルが発生した場合の報告と情報共有、再発防止を徹底してください。	意見なし。

A	優	良
B	良	好
C	課	題
D	要	改

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課	
区分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	
法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	初回利用時には、川西市在住であることを確認した上で登録手続きを行い、ご利用いただいています。 友だちに誘われて遊びに来た小中高生に関しては、保護者に利用登録を行っていただくよう手紙を渡し、登録書受け取り確認の連絡を入れています。 また、法令に従った施設運営だけでなく、適切な業務を行うために、年1回社協本部による内部監査を実施し、改善に努めています。	A	法令を遵守し、適正な管理運営を行なうとともに、職務遂行にあたって適切な対応を継続してください。	意見なし。	
施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報に関しては、施錠できるロッカーに保管し、外部への持ち出しを禁止しています。 また、保管期限の切れた個人情報に関してはシュレッダーにかけて処分するなど、適切に管理しています。	A	利用者の個人情報に配慮し、適切に取り扱われている。	意見なし。	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	B	乳幼児の保護者には、常にこどもの見守りをさせていただきよう願っています。 また、プレイルームの遊具が安全に使用できるよう、ブラレールの台の四隅に保護カバーをつける等の対策を講じました。 児童に関しては、怪我やこども同士の喧嘩等が起きないよう、職員が館内を巡回し、声掛けと見守りを強化して行っています。	B	利用者の事故防止策を実施されており、利用者が安心安全に利用できるような環境整備を進められている。	意見なし。	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	防犯対策として、2階遊戯室および廊下に防犯カメラの設置台数を増やしました。 また閉館後や休日の警備は、アルソックに委託しています。 火災時の避難、誘導、通報、消火訓練を年2回、隣接する障害福祉事業所と連携して行っています。 更に、防火管理者が再講習を受け資格要件を解消しました。	A	警備体制、避難訓練は適切に行なわれている。防火管理者の資格要件も改善されている。	意見なし。	
事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	事故発生時(怪我や体調不良)、非常災害時対応のマニュアルを作成しています。また、ヒヤリハットについては、社協本部の共有フォルダに入力して、社協全職員が再発予防に務められるように共有しています。 新型コロナウイルス感染症対策についても、随時 冊子等の情報を回覧し、職員が情報共有できるようにしています。 新たに地震発生時対応マニュアルを作成しました。	C	マニュアルは更新されていないので、定期的に見直しや更新をしてください。 ヒヤリハット事例は朝礼等で定期的に事例と改善策を周知することで、職員への意識付けの徹底をして再発防止の一助としてください。	意見なし。	
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。	A	児童の遊具(バトミントンやビーチボール)、卓球台(3台)、ピリヤード台(中学生以上が使用)の利用に関しては、時間制限を行い、こども達が平等に利用できるよう配慮しています。 主催事業の申込の際には、初めて参加する人を優先受付し、できるだけ多くの人に利用してもらえるよう配慮しています。	A	利用者が平等に利用できる仕組みを構築されている。	意見なし。	
利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。		非該当				
< 課題 >		児童の新規利用登録に関して、利用のルール等の周知徹底をすることが課題です。		児童の新規利用登録に関して、児童が登録用紙を持って帰った後、後日持参しないで済むように、保護者が自宅でWeb登録できるなど利用者が便利な方法を検討ください。	意見なし。	
< 改善内容 >		新たに地震発生時対応マニュアルを作成しました。 防火管理者の再講習を受講し、資格要件を解消しました。 防犯カメラの設置台数を増やし、防犯対策を強化しました。 また、年に一度、社協本部による法令遵守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用などの監査を受け、問題があればその都度改善し、適正に施設管理を行っています。		防火管理者の資格要件解消がなされている。 事故発生時や非常災害時の対応に関するマニュアル等の定期的な見直しや、災害を想定してマニュアルを使った職員訓練も有効と考えます。	意見なし。	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代児童センター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	こども未来部 こども政策課		
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】			指定管理者一次評価 【市所管記入欄】			指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価ランク	A			A			
・評価できる内容		<p>新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら、計画した自主事業の全てを実施することができました。 また、川西児童館との共催事業を2度実施することができ、利用者の拡大を図ることができました。 季節のイベントにおいて、併設の老人福祉センター利用者や隣接のアソシア・ジョブ川西の利用者との世代間交流を図ることができました。</p>			<p>前年度計画どおりには実施出来なかった行事について、方法を模索し計画どおりに実施されている。</p>		意見なし。
・令和4年度に改善した内容		<p>各事業の体制を1クール5～6回(年3回)定員数も固定して行いました。</p>			<p>事業のクール制を導入することで、事業参加者の交流を深めるきっかけとするとともに、新型コロナウイルス感染症対策としても利用者の安全に繋がる取組みをされている。</p>		意見なし。
・令和4年度に改善したことによる効果		<p>クール制を導入したことにより、利用者同士がお互い顔馴染みとなり、子ども達の成長や様子も理解し合え親しみやすく接することが出来ました。</p>			<p>おもちゃ殺菌庫とその他の感染予防対策を合わせて継続実施することで、感染リスク低減を図り利用者の安全安心な利用に寄与されている。</p>		意見なし。
・問題があり次年度以降改善が必要な点		<p>中高生の利用を増やす課題に対して、夏休み等の長期休みに自習室を開放する試みを行いました。『声掛け』の周知だけにどまっただけか利用が少なかったことで『声掛け』以外の周知方法の検討が必要です。 事業の案内などで利用している児童センター単独のLINEが有料化(令和5年6月から)されることになり、予算措置もしていないためその後の対応を検討する必要があります。</p>			<p>・令和4年度、夏休み等の長期休みに自習室利用のため部屋の開放を行ったが利用が少なかったこと。 ・広報媒体の1つのLINEの有料サービスについて、R6年度以降の方針を決めること</p>		意見なし。
・改善方法とその時期		<p>中高生の利用促進に関して、夏休みなどの長期休みの自習室の開放等のPRを『声掛け』に加え、隣接の南中学校に周知のチラシ配架を依頼します。 また、小学生が中学生になっても利用したいと思われる場所となるように新たな事業の検討を進めます。 LINEの有料化については、令和5年6月1日から社協本部のLINEに移行するため、移行の案内を5月から行い、周知します。 今後、利用者にとってより有用な情報提供に繋がるよう更にSNS(インスタグラム等)の活用を社協本部と協議します。</p>			<p>・自習室の利用が少なかった原因を分析し、周知方法やルールの見直し等を行い多くの人に利用いただけるよう工夫してください。(～1月) ・広報媒体について費用対効果を意識し、既存の広報媒体の効果を分析して有効な方法を検討ください。(～3月) ・多くの児童生徒が利用しやすい方策を検討し、久代児童センターにおける居場所づくりを期待します。</p>		意見なし。

【記入上の留意点】

- 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
- 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。